

予報を覆すワイスホルンでした！

天気予報が不安だったが、登山口に着いた頃は快晴、既に満車状態で9時スタート。昨年は激しい吹雪で断念したポイントを通って樹林帯を抜けると、そこからは穏やかな風と晴天が広がり、左側にはアンヌプリとイワオヌプリの大きく猛々しい山容を眺めつつ、テンションも上がる。

前半のチョットした急斜面を登りきると、穏やかな斜面が続き、気持ちがいい。

標高950mの疑似山頂（以前はガスでここで止めた？）を越えると山頂が見えてきて、沢山のスキーヤーが山頂を目指している。

暫く尾根沿いに進んで、12時約3時間で山頂到着。

山頂からは、文字通りの360度の大絶景。岩内岳、目国内岳方面や、



これからの予定

4月18日か19日 暑寒別岳 上口氏まで
5月2～4日 乗鞍大滑降
全国山スキー一部50周年記念行事
6名が参加します・



ニセコ方面の山々が全て一望できて大満足。達成感を感じる絶景を堪能して下山。疑似山頂付近までは、思い思いにスクールを描き、楽しく滑降。しかし、どんどん気温が上昇し、下るに連れてストップ雪、バランスを崩されながら、所々で休憩を入れながら下山し、林道でしばし安堵の歓談。

ここから再度シールを貼り、参加者6名無事笑顔のゴール。穏やかな天候の中、達成感のあるワイスホルンでした。

（上口氏 記）

奇跡の天気のイワオヌプリ！

4月5日はイワオヌプリ。天気予報がコロコロ変わる中、五色温泉迄はずっと霧雨+霧の中で、あまり視界も良くないが9時40分スタート。予報が良くないせいか、他の登山者の人影が見当足らない。しかし、なんと何と、標高900m付近まで登って行くと付近の山々が見え始め尾根に出ると、なんと快晴、空は真っ青！風も穏やかで、今年は雪が多くて、頂上111



6m) 迄雪が続いていたので、頂上を目指して頑張り、11時50分頂上に到着。

この時期何度か登っているYさんは、「スキーのまま山頂まで登れたのは初めて。」と感激。山頂からはアンヌプリ、羊蹄山、ニトヌプリ等の山並みの絶景を堪能。

下山は、昨年と同じ凹面の急斜面を一気に滑り下り、13時30分下山。

今回の参加者は9名、皆さん、お疲れ様でした。

（石塚氏 記）